

ザンビア観光

平成21年5月
在ザンビア日本国大使館

1. ビクトリアの滝 "Victoria Falls" (世界遺産)

1989年にユネスコの世界自然遺産に登録されたビクトリアの滝は、ザンベジ川の中流、ジンバブエ共和国とザンビア共和国の国境に位置し、ナイアガラ、イグアスの滝と共に世界3大瀑布の1つとなっています。現地の人々に「モシ・オ・トゥニャ」(Mosi-o-tunya、雷鳴轟く水煙の意)として呼ばれていたこの滝は、1855年にイギリスの探検家デイビット・リビングストンがこの地に足を踏み入れ、イギリスのビクトリア女王にちなんで英語名がつけられるようになると、欧州でもその存在が初めて知られるようになりました。リビングストンは、滝発見の時の驚きを「その景色の素晴らしさは英国にあるどんな景色からも想像出来ないものである。」と手記に記しています。

滝の最大幅が1,700メートル、最大落差108メートルもあるビクトリアの滝は、満月の夜には月の光で虹が現れ滝がライト・アップされウォーキング・ツアーも開催されるなど、一年間を通して様々な景観で旅行者を楽しませてくれます。

また、滝周辺には、ザンビア共和国で最も歴史があるリビングストン博物館があります。同博物館には、日本も、平成15年度の文化無償資金協力で視聴覚器材を供与しましたが、それらは館内の展示やザンビアの伝統的文化行事の記録、紹介に役立てられています。

2. サウスルワンガ国立公園

ザンビア共和国は、アフリカ有数の動植物相を誇り、野生動物の保護にも力を入れています。国内には約20の国立公園がありますが、サウスルワンガ国立公園はその名の通りルワンガ川に沿って9,050キロ平方メートルに広がるザンビアで二番目に大きい国立公園で、アフリカのウォーキング・サファリの発祥地でもあります。

生息している動物もサイ(「モシ・オ・トゥニャ」国立公園にのみ生息)を除いては、象、ライオン、キリン、カバ、シマウマ、バッファロー、アンテロープ、インパラ等々約60種類、鳥類に至っては400種類をこえる美しい鳥々を間近に見ることが出来、特に象の生息数は他の国立公園に比べ、群を抜いた多さと言えます。

[渡航情報](#)